



大清水中だより

教育理念 自由と責任
教育目標 『感謝 努力 創造力』

2021年12月2日発行 12月号 <http://www1.fujisawa-kng.ed.jp/johsh/> TEL 0466-50-8353
藤沢市立大清水中学校 〒251-0002 藤沢市大鋸 1400 校長 百武 三郎

カレンダーを見ると12月の1枚だけになりました。12月はクリスマスや年越しなど楽しいイベントがたくさんあり、街の風景もイルミネーションで飾られて華やかです。学校でもクリスマスツリーを飾りました。コロナ禍で心が沈みがちな毎日ですが、少しでも心が温かくなるようにと思いを込めて飾りました。小さな楽しみ、喜びをつないで冷え込みそうな心を温めたい12月です。



やはり12月は感謝の月 (学校目標の一つ目も“感謝”です)

今年も12月がやってきました。昨年も書きましたが12月になるとたくさんの感謝の思いがわいてきます。この世に生んでくれたことへの感謝、育ててくれたことへの感謝、新しい家族となってくれたことへの感謝、コロナ禍でも一年間無事に過ごせたことへの感謝、皆が元気でいてくれたことへの感謝、言葉では表せないほどのたくさんの感謝の中で今を生きています。

12月に感謝の思いが強くなるのには理由があるのかもしれませんが、60年前、私が生まれた日はとても寒い日だったそうです。今では多くの子どもは病院(産院)で生まれてきます。しかし私は昔で言うお産婆さん(助産師)に自宅に取り上げてもらいました。今のようにストーブやエアコンがあるわけでもなく、木造で隙間風の入る自宅は火鉢だけが暖房器具でした。生まれた時、私は泣かなかったそうです。全身がチアノーゼで紫色になり、泣かないままの私に気付いた母は「死んじゃった、死んじゃった!」とパニックになったと聞きました。その後、お産婆さんの手当てもあってか、弱々しくですが産声を上げました。父は隣の部屋に兄たちを座らせ、自らも正座して姿勢を正し「お前たちの弟が今、産まれた。しかし、ダメかもしれないから覚悟しておくように」と静かに言ったそうです。幼かった兄にとってもその“覚悟”の意味は、父の表情や言葉の響きや重みから感じ取ったと言っていました。幼少期になっても食が細くあまり食べなかった私に、家族は小さなおにぎりを作って食べさせたり、栄養剤を用意したり、色々と面倒を見てくれました。そのお陰もあってか、大病もせず成長することができました。決して一人で大きくなったわけではありません。多くの助けがあって今の自分があることに、感謝の思いを禁じえません。



明日、60回目の誕生日を迎えるのですが、先月ちょっと衝撃的な事実を知りました。それは…。実は10月に腫瘍の除去手術を受けました。「腫瘍といっても悪性ではないだろう。しかし、何かの病気の時に腫瘍部分が悪さをする可能性があるので取ってしまった方がいい」と医者に言われていました。そして、コロナ感染症がちょっと落ち着いている今がチャンスだとアドバイスを受けました。手術そのものは短時間で済み、先月の診察でも腫瘍の検査結果も良性のもので、特に心配はないとのことでした。ところがその腫瘍の正体を聞いてビックリしました。なんと胎生期の残留物なのだそうです。胎生期、つまり母のお腹の中にいた時からこれまで60年にわたって一緒にいたことになります。これは大きな驚きでした。腫瘍は取り去りましたが、60年ものあいだ一緒にいても特に悪さをすることなく過ごしてくれたことにも、ある種の感謝を感じました。

私たちの身の回りには感謝の思いが溢れています。どこにいても、何歳になっても、何をしていても、たくさんの「ありがとう」の中で生きています。今こうして生きていること、生かされていること自体が奇跡だという人もいます。感謝できる心を常に持ち、その心を持ち続けられるように努めていかなければならないと強く思いました。



三つのCとひとつのC

学級担任をしていた時に生徒に語った話です。chance に challenge すると何かが change してあなたの中の何かが can になる。change というのだから一文字変えてみよう。すると chance になるではないか！一年間を振り返るこの時期だからこそ、そのチャンスにどんなチャレンジをして、何がチェンジしてどんなキャンが増えたのかを思い返してほしいのです。人は様々な経験の中で生きています。そしてその経験の多さが人生の引き出しを増やし、ここ一番での知恵をひねり出します。経験は振り返ることで、その引き出しの深さ、広さを増やします。ここでの振り返りをもとに、新年の抱負や目標を立てられるといいですね。

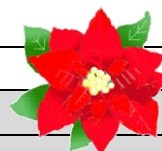


コロナウイルスだけじゃない ～インフルエンザ対策も～

昨年は本校では一人の発症者もなかったインフルエンザ。しかし今年は流行の恐れがあると聞きます。対策は新型コロナウイルス同様にマスクの着用や丁寧な手洗い、そして栄養と休養といった基本的な感染症対策です。また新型コロナウイルスの新たな変異株の話も気になります。感染者数が落ち着いている時だからこそ、気を緩めることなく感染症対策を心掛けていきたいところです。

12月の予定

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	水	1, 2年中間テスト 3年三者面談	17	金	1, 2年三者面談
2	木	1, 2年中間テスト 3年三者面談	18	土	
3	金	3年三者面談	19	日	
4	土		20	月	1, 2年三者面談 月②③④⑥/⑤①
5	日		21	火	1, 2年三者面談 火②③④⑤/①⑥
6	月	3年三者面談	22	水	1, 2年三者面談 水②③④⑤/①⑥
7	火	3年三者面談 2年食育講演会	23	木	5校時まで ワックスがけ
8	水	専門委員会 5組施設見学	24	金	授業納め 全校集会
9	木	お掃除週間 (~15)	25	土	
10	金	全校評議会	26	日	
11	土		27	月	
12	日		28	火	学校業務停止期間 (~1月4日)
13	月	避難訓練	29	水	
14	火	赤い羽根募金開始 (~16)	30	木	
15	水	3年実力テスト P校外委研修会	31	金	大晦日
16	木	1, 2年三者面談	1	土	元日 2022年 令和4年 壬寅



「子どもの権利条約」リーフレットについて



世界のすべての子どもの幸せを願って作られた「子どもの権利条約」を広く周知するために、藤沢市教育委員会では学校にかかわることを中心にした条文を取りあげる形で、中学生向けにリーフレットを作成し、毎年1年生に配布しています。本年度からは藤沢市教育委員会のホームページに掲載することで、いつでも閲覧いただくことができるようになりました。2次元コードを読み込んでいただき、ぜひ保護者の皆様も子どもの権利についてご確認ください。

※学校評価の回答にご協力ください。今年度もWEBでの回答になります。不明な点は学校へご連絡ください。